

**製品名: c-Myc ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21557**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:48kD;Observed MW:60kD

**抗原情報**

遺伝子名	MYC
別名	Myc proto-oncogene protein;Class E basic helix-loop-helix protein 39;bHLHe39;Proto-oncogene c-Myc;Transcription factor p64;
遺伝子 ID	4609.0
SwissProt ID	P01106
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

**背景**

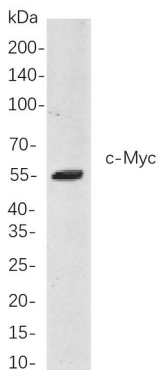
細胞局在核。v-myc 鳥類骨髄細胞腫症ウイルス癌遺伝子ホモログ (MYC) Homo sapiens この遺伝子によってコードされるタンパク質

は、細胞周期の進行、アポトーシス、および細胞の形質転換に役割を果たす多機能核リンタンパク質です。これは、特定の標的遺伝子の転写を制御する転写因子として機能します。この遺伝子の変異、過剰発現、再編成、および転座は、バーキットリンパ腫を含むさまざまな造血腫瘍、白血病、およびリンパ腫に関連しています。上流のインフレームの非 AUG (CUG) 開始部位と下流の AUG 開始部位からの選択的な翻訳開始により、異なる N 末端を持つ 2 つのアイソフォームが生成されることを示す証拠があります。バーキットリンパ腫では非 AUG 開始タンパク質の合成が抑制されており、これがこの遺伝子の正常な機能における重要性を示唆しています。  
[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

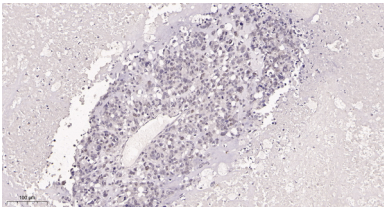
## 研究分野

-

## 画像データ



c-Myc ウサギ mAb を用いた A172 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト肺組織の免疫組織化学分析。1、c-Myc ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、抗体賦活化には EDTA pH 9.0 を使用 (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。